

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 6年 11月 3日 ( 日 )

1. 初期支援 (初めの関わり)

メンバー 山下、金丸、田淵、田中、森本、竹内、尾河、内田、吉川、玉本、小林、松本

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0人	9人	3人	0人	12人

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・情報を得る努力はできている。必要な情報をいかに伝え統一していくかの工夫が必要。</li> <li>・訪問時の情報は訪問ノートにて伝達している。しっかりと確認をしてから訪問にできるよう心掛ける。</li> <li>・新規の情報についてはタイムリーに伝わるように、ケアマネも早めに情報を出していく。</li> <li>・ケースの入力はポイントを押さえた記録になるように心掛ける。</li> </ul>
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・情報を得る努力は皆行えている。朝夕にミーティングを行い次に繋げる事を行っている。</li> <li>・ポイントを押さえた記録や報告、介護は継続だが単発の内容になっていることがある。</li> </ul>

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	0	9	3	0	12
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	0	8	4	0	12
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができていますか?	2	8	2	0	12
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	0	8	4	0	12

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> <li>・新規の方は利用前の情報について、記録や申し送りノート・朝夕のミーティングで情報共有を行っている。</li> <li>・利用開始時は、こまめに声を掛け少しずつ馴れて頂ける様意識している。</li> <li>・朝の迎え時に、家族に自宅での様子や体調に関しての聞き取りを行い、職員間で共有している。</li> <li>・疑問と思ったことはケアマネジャーに確認をしている。</li> </ul>	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> <li>・事前に情報共有はしているが、文字での伝達では十分に理解できないときがある。</li> <li>・家族との関わりが送迎時のみのことが多く、関係を築くまで少し時間が掛かる。</li> <li>・毎回のケース記録のまとめで、ポイントを押さえた記録が出来ていない。</li> <li>・伝えること・記録することの「要点」を見極めることが出来ていない。本当に必要な情報が残せていないときがある。</li> </ul>	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none"> <li>・継続して申し送りノートの確認やミーティングでの情報共通を継続していく。</li> <li>・介護は継続していることを認識して、「その後どうなのか」まで記録ができるように心がける。</li> <li>・利用はじめはいろいろな職員が話を聞くので、聞いた内容を個別の「私ってどんな人」シートに記載していく。</li> <li>・得た情報はとにかくリーダー席の記録用紙に残す。</li> </ul>	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 6年 11月 3日 ( 日 )

2. 「～したい」の実現 (自己実現の尊重)

メンバー 山下、金丸、田淵、田中、森本、竹内、尾河、内田、吉川、玉本、小林、松本

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	0人	7人	5人	0人	12人

前回の改善計画
・担当の利用者のケアプランをしっかりと読む。 ・大きな目標ではなくとも、日々の中での目標に取り組めるように利用者との関りをしっかりと持ち、利用者の声を大事にしていく。
前回の改善計画に対する取組み結果
・ケアプランを読み込むことは出来ていない。 ・日々の中で思いを確認したときは、意欲を尊重し無理のない範囲で実践している。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	「本人の目標 (ゴール)」がわかっていますか?	0	9	3	0	12
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?	0	7	5	0	12
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?	0	3	9	0	12
④	実践した (かかわった) 内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?	0	7	4	1	12

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・本人の思いや「～したいこと」は本人に聞き取っている。 ・やりたいことは出来る範囲でして貰っている。 ・ミーティングでの発言も出来ているし、1日の大事な情報は共有できている。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・ケアプランが読めていない。 ・本人の目標やしたいこと、思いが十分に聞き取れていないこともある。 ・勤務時間内で情報を読む時間がなかなか取れない (人員不足も有る)	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
・ケアプランとは? の理解を勧め、読むことが出来る様な工夫を行う。(新規のプランや変更時のプランについては、回覧として読んで貰うようにする等) ・毎月のケース記録 (モニタリング) 記載の際に、目標を必ず確認する。 ・会話の中での「思い」を大事に聞き取り共有する。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 6年 11月 3日 ( 日 )

3. 日常生活の支援

メンバー 山下、金丸、田淵、田中、森本、竹内、尾河、内田、吉川、玉本、小林、松本

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0人	8人	4人	0人	12人

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"><li>気づいた変化について小さなことでも伝えていける、その声を拾う事の出来る職場作り。</li><li>利用者との対話を多くして、今までの自分史や強み弱みの聞き取りの中で本人の思いを知る。</li></ul>
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"><li>変化等への気付きは出来ているが、全体の共有は難しいときがある。</li><li>利用者との会話の中で自分史等の聞き取りをし、「私ってどんな人」シートの記入は出来ているが、職員全体での共有が出来ていないときもある。</li></ul>

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか?	0	1	11	0	12
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	5	6	1	0	12
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?	0	6	6	0	12
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	2	8	2	0	12
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	4	6	2	0	12

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"><li>気づいたことはチーム内で早めに共有し対応を相談している。</li><li>変化があったときは、本人の状況に合わせて介護方法を変更している。</li><li>関わりについて「もっとこうすれば良いのではないか」等の意見の出し合いは出来ている。</li><li>些細なことも反省会などで話し合っている。</li></ul>	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"><li>体調に関して気付きがあっても、その先の対応に繋がられていない時もある。</li><li>伝えるべき情報をミーティング等で発言できていないことがある。</li><li>本人が今どうしたいのかの「思い」まで聞いていないことがある。</li></ul>	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none"><li>日々の変化に対してその日だけではなく、継続する事が出来るミーティングを行う。</li><li>職員数が少ない中でも、会話をする時間を持つ努力を行う。</li></ul>	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 6年 11月 3日 (日)

4. 地域での暮らしの支援

メンバー 山下、金丸、田淵、田中、森本、竹内、尾河、内田、吉川、玉本、小林、松本

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0人	3人	6人	3人	12人

前回の改善計画

- ・特に担当している利用者に関しては、訪問しご家族より話を聞く時間を作っていく。
- ・地域資源とは?を考える時間を作っていく。

前回の改善計画に対する取組み結果

- ・送迎時に出会えるご家族とは話す機会もあるが、そのほかで訪問することは出来ていない。
- ・地域資源とは何かを考える時間は取れていない。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?	0	7	4	1	12
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?	2	6	3	1	12
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?	0	6	6	0	12
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?	1	2	7	2	12

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

- ・ご家族には送迎時に、ご本人には車中で休日の過ごし仕方などの聞き取りは行っている
- ・担当の利用者の会議には積極的に参加を行っている。
- ・利用者の生活スタイルの把握は出来ている。
- ・本人の生活歴は会話の中で聞きとり「私ってどんな人」シートを活用し、聞き取った情報を共有している。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

- ・地域資源の把握が十分でない。
- ・民生委員と利用者の関わりも把握できていない。
- ・サービス担当者会議等の参加でないと、ご家族とじっくり話す機会のないお家もある。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)

- ・利用者と地域との関わりがどのようなものか、聞き取りをしていく。
- ・民生委員の名前程度は知っているが、他の地域資源はまだ分かっていないので、地域資源について学ぶ時間を作る。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 6年 11月 3日 (日)

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー 山下、金丸、田淵、田中、森本、竹内、尾河、内田、吉川、玉本、小林、松本

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1人	3人	7人	1人	12人

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・竜王町のインフォーマルなサービスについて「何か？」から考えてみる。</li> <li>・指示がないとできていないことがあるので、判断力を高めていく。</li> </ul>
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・竜王町のインフォーマルサービスについてまだ分かっていない。</li> <li>・判断力はまだ高まっていない。</li> </ul>

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?	3	5	4	0	12
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	9	3	0	0	12
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか?	4	5	3	0	12
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	2	9	1	0	12

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> <li>・配食業者・スマイル・関わりのある民生委員との連携は取れている。</li> <li>・通いを休まれたときは訪問を行っている。</li> <li>・計画的な泊まり、急な泊まりにも対応は出来ている。</li> </ul>	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分自身に判断の自信が無いときがあり、他職員に意見を求めることがある。</li> <li>・地域の資源と言っても、思い浮かぶ人や団体が見えてこない。</li> <li>・決まった支援にとらわれて、柔軟に考えての支援が出来ていない事がある。</li> </ul>	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の資源について、考える時間を取っていく (1月の定例会議で行う)</li> <li>・柔軟な支援への判断が出来る様に、研修等にも参加をしていく。</li> <li>・</li> </ul>	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 6年 11月 3日 (日)

6. 連携・協働

メンバー 山下、田淵、金丸、田中、森本、竹内、尾河、内田、吉川、玉本、小林、松本

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2人	5人	2人	3人	12人

前回の改善計画

- ・管理者・ケアマネジャーとして参加が必要な会議には継続して参加をしていく。
- ・サービス担当者会議には可能な限り担当職員が参加をしていく。
- ・多職種連携や自主研修会には、職員自ら積極的に参加をしていく。
- ・広報「みゆきやま」の年2回の発行の継続。

前回の改善計画に対する取組み結果

- ・管理者・ケアマネジャーは参加が必要な会議等には参加している。
- ・可能な限り担当者会議には担当職員が参加をしている。
- ・自主研修への参加は少し出来た。
- ・広報みゆきやまは年2回発行できている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	その他のサービス機関（医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所）との会議を行っていますか？	3	4	2	3	12
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか？	1	0	4	7	12
③	地域の各種機関・団体（自治会、町内会、婦人会、消防団等）の活動やイベントに参加していますか？	0	4	2	6	12
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか？	0	7	3	2	12

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

- ・10周年記念行事を行い、地域の方が施設に来られふれあうことが出来た。
- ・地元消防団指導の下、消防訓練が出来た。
- ・キャラバンメイトの研修に参加することが出来た。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

- ・地域のイベントやおたっしや教室など参加があまり出来ていない。
- ・サービス担当者会議以外では、他機関との関わりがケアマネ以外持っていない。
- ・上司の勧め等で受けている研修はあるが、自身のスキルアップや意識向上のための研修を、自ら受けていこうという意識が低い。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)

- ・管理者・ケアマネジャーとして参加が必要な会議には継続して参加をしていく。
- ・サービス担当者会議には可能な限り担当職員が参加をしていく。
- ・多職種連携や自主研修会には、職員自ら積極的に参加をしていく。
- ・広報「みゆきやま」の年2回の発行の継続。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 6年 11月 3日 (日)

7. 運営

メンバー 山下、田淵、金丸、田中、森本、竹内、尾河、内田、吉川、玉本、小林、松本

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	0人	10人	2人	0人	12人

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"><li>・利用者・家族からの意見をしっかりと受け止め対応していく。</li><li>・送迎時や訪問時には地域の方への挨拶を基本にし、山かがみを知って頂く事から関係の構築を始める。</li><li>・小規模多機能居宅としての在り方を再度検討していく。</li></ul>
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"><li>・利用者や家族からの意見はしっかりと聞き対応はしている。</li><li>・送迎時、地域の方とで会うことがあれば挨拶等を行っているが、関係構築までは出来ていない。</li><li>・小規模多機能居宅としてのあり方の勉強会は出来ていない。</li></ul>

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができていますか?	0	7	5	0	12
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	1	9	1	1	12
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?	1	8	2	1	12
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか?	1	4	7	0	12

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	<ul style="list-style-type: none"><li>・送迎時に家族に会えると、休みの日の様子を聞いたり、利用時の様子を伝えたりしている。</li><li>・苦情と言われなくとも、苦情としてとらえるべき内容に関しては、皆で苦情として共有し受け止めている。</li><li>・家族からのコメントは、大切な意見としてとらえている。</li><li>・聞いた意見はすぐにスタッフ内で共有し対応している。</li><li>・運営推進会議で地域の代表の方から意見を頂いている。</li></ul>

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
	<ul style="list-style-type: none"><li>・利用者が参加しているおたっしや教室などへの参加が出来ていない (1度だけ参加をしたが・・・)</li><li>・地域との「協働」とは何か、具体的に考える事が出来ていない。</li><li>・地域との関わりが十分には取れていない。</li></ul>

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
	<ul style="list-style-type: none"><li>・利用者・家族からの意見をしっかりと受け止めて対応していく。</li><li>・職員が利用者と共にカフェやおたっしや教室に参加していきたい。</li><li>・小規模多機能居宅としての運営についての勉強会を行う。(1月の定例会議を予定)</li></ul>

事業所自己評価・ミーティング様式
8. 質を向上するための取組み

実施日	令和 6年 11月 3日 ( 日 )
メンバー	山下、金丸、田淵、田中、森本、竹内、尾河、内田、吉川、玉本、小林、松本

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	2人	6人	4人	0人	12人

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・いろいろな研修はあるので、自身で積極的に参加をするようにする。</li> <li>・ヒヤリハットや介護事故は気づきがあるから記載ができることを確認し、意識の向上につなげていく。</li> </ul>
---------	---

前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・資格取得や加算要件の研修などにも積極的に参加も出来たが、自主的な研修への参加は少なかった。</li> <li>・ヒヤリハットや介護事故報告書は、法人内他事業所よりしっかりと書けている。</li> </ul>
------------------	---

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	研修 (職場内・職場外) を実施・参加していますか	1	3	4	4	12
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	3	1	3	5	12
③	地域連絡会に参加していますか	1	1	2	8	12
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	3	8	1	0	12

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> <li>・研修に参加出来るように配慮をして貰っている。</li> <li>・月1回の定例会議に参加。研修報告などを聞くことで勉強になる。職場内研修となっている。</li> <li>・事業所として、どの職員も必要な研修に参加をしている。</li> <li>・ヒヤリハットの記入により、ミスの再発防止に努めることが出来ている。</li> <li>・</li> </ul>	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ヒヤリハットなどの記録を後回しにしてしまい、記載を忘れていくことがある。</li> <li>・同じ内容のヒヤリが何回もあり、意識の向上に繋がっていない様にも思う。</li> <li>・積極的には研修に行けていない。</li> <li>・自主的には研修に参加出来ていない。</li> </ul>	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none"> <li>・言われた研修のみならず、いろいろな研修はあるので、自身で積極的に1回は参加をする。</li> <li>・ヒヤリハットや介護事故は気づきがあるから記載ができることを確認し、意識の向上につなげていく。</li> </ul>	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 6年 11月 3日 ( 日 )

9. 人権・プライバシー

メンバー 山下、田淵、金丸、田中、森本、竹内、尾河、内田、吉川、玉本、小林、松本

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	5人	7人	0人	0人	12人

前回の改善計画
<ul style="list-style-type: none"><li>常に誰かが (利用者・職員) が聞いているという意識をもつ。</li><li>トイレのなかで「おしっこ出た？」という会話も扉の外に聞こえているということに気づく。</li><li>山かがみで知り得た情報は、外には出さないことを再確認していく。</li><li>大きな声で話さず、利用者の近くで穏やかな口調で話すよう心掛がける。</li></ul>
前回の改善計画に対する取組み結果
<ul style="list-style-type: none"><li>プライバシーを守るという意識はあるが、業務内で時として出来ていないこともある。</li><li>個人情報を守るという事については概ね出来ている。</li></ul>

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	身体拘束をしていない	12	0	0	0	12
②	虐待は行われていない	12	0	0	0	12
③	プライバシーが守られている	7	5		0	12
④	必要な方に成年後見制度を活用している	0	0	0	0	活用無し
⑤	適正な個人情報の管理ができています	6	5	1	0	12

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	<ul style="list-style-type: none"><li>行っているケアに対し、身体拘束や虐待に当たらないか、立ち返るよう意識している。</li><li>利用者のプライバシーは守られている。</li><li>個人情報は外には出していない。</li><li>人権・プライバシーに関して職員は特に気をつけていると思う。</li></ul>

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
	<ul style="list-style-type: none"><li>デスクの引き出しに利用者情報が入っているのに、施錠が出来ていない時がある。</li><li>利用者の頭の上で職員同士が会話をしていることがある。</li><li>トイレ誘導の時など、難聴の利用者に対して大きな声で声かけをしまっている。</li><li>個人情報に関して、スタッフ間でフロア内で話をしていることがある。</li><li>「ちょっと待って」などのスピーチロックをしていることがある。</li></ul>

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
	<ul style="list-style-type: none"><li>常に誰かが (利用者・職員) が聞いているという意識をもつ。</li><li>トイレのなかで「おしっこ出た？」という会話も扉の外に聞こえているということに気づく。</li><li>利用者の頭を越えての会話は慎む。</li></ul>



小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	社会福祉法人 雪野会	代表者	理事長 寺嶋 嘉孝	法人・ 事業所 の特徴	地元の高齢者福祉の拠点と期待を寄せられてきた、公設民営の特養の運営を長年行ってきた法人である。地元への貢献を運営理念に掲げており、竜王町にとって初めての小規模多機能型居宅介護事業所を設立してもうすぐ10年目となる。当地域はこれまで高齢者福祉サービスが希薄な場所であったこともあり、高齢化が進む地元住民にとっては安心できる一つの材料となっている。竜王町を代表する鏡山に抱かれた広々とした場所に位置し、利用者からは景色の良さに満足の声が上がっている。
事業所名	小規模多機能 山かがみ	管理者	山下 京子		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	1人	3人	人	1人	(1)人	0人	3人	0人	9人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎年6月、10月には各職員が自己評価を行い、11月事業所自己評価を行う。</li> <li>・どの職種の職員であっても職員間の連携を密にし、利用者の情報共有を行う。方法としては、日々の申し送りノートや朝夕の確認及び反省会、月1回の定例会議の場をもって共有を行う。</li> <li>・事業所自己評価の各項目について、関係する職種が違うこともあるが、小規模多機能居宅のメリットとして職員全員で「できている」に向けて取り組んで行く。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各職員の自己評価と事業所評価は行った。</li> <li>・日々の申し送りは朝夕のミーティングで行い、連携ノートに記載し連携に努めた。</li> <li>・自己評価の評価に関しては、介護職員と台所対応の職員では関係する項目の違いもあり、個人として「できていない」のチェックになる。評価表として規定の物で有り難い部分である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・朝夕のミーティングを実施・維持することが評価できる。</li> <li>・記録はできているようだが、内容についてもレベルアップが必要。</li> <li>・私も気をつけないと行けないのですが、新人の方の意見を会議の時など先に聞く方が良いような気がします。ベテランになればなるほど専門性が高まり、次に言いにくくなるような気がします。</li> <li>・スタッフ各自が現状を把握することがまず重要で有り、その取り組みが感じられる。そして、改善については効果が必要である。</li> <li>・多くの意見が出ており良いと思います。特定のメンバーの発言に偏らないように留意して頂きたい。</li> <li>・全ての改善計画が達成可能な項目かは不明であるが、結果として利用者に対して、いかに効果が出るかを考えたい。</li> <li>・「できること」を目標にできている点は良い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年2回(6・10月)の職員での評価、11月の事業所自己評価の継続。</li> <li>・朝夕のミーティングでの情報共有。</li> <li>・何事においても声を掛け合い、全ての職員が理解し各業務に向かえるようなミーティングの継続。</li> </ul>

<p>B. 事業所のしつらえ・環境</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日々の掃除や消毒。春と秋の2回、全職員参加のワックスがけ、換気扇や下水升に至るまで環境整備を行い、清潔で居心地の良い施設の継続を行います。</li> <li>・屋外の環境整備は日赤奉仕団の方に助けて頂いています。特に鏡の日赤奉仕団には無理をお願いして年2回の草引きをしていただいています。継続して助けていただけるように、地域の方との関係作りを行います。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日々の掃除や消毒、年2回のワックスがけ等環境整備はできた。</li> <li>・日赤奉仕団により清掃ボランティアも春と夏・秋・冬と来て頂き、助けて頂いている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・清潔を保てていると思います。</li> <li>・事業所の環境を判断することは難しいが、会議の時の判断により不快な思いは無い。</li> <li>・問題なくできている。</li> <li>・柱の色等、事故の起こりにくい環境作りもご検討下さい。</li> <li>・事業所の環境作りは最も重要と考える。利用者に対しても、スタッフに対しても影響する。安全への考慮になる。</li> <li>・玄関とても綺麗です（ゴミ無いですし、下駄箱も綺麗） （お花が少しあるとホンワカするかも）</li> <li>・リビングの支柱を認識できない利用者に対し工夫が必要です。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・常に環境には気をつけています。日々の掃除や年2回のワックスがけ(換気扇や下水升他)の環境整備を行い、気持ちの良い環境作りを継続する。</li> <li>・日赤奉仕団の方々にもご協力いただいています。継続して頂ける様をお願いしていきます。</li> </ul>
<p>C. 事業所と地域のかかわり</p>	<p>事業所も10年目を迎えます。地域の方と一緒にイベントが出来ないか検討したいと考えています。カフェ開催も検討していきます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・まだまだ啓発が足りないと感じています。職員が地域に住む利用者と一緒に、おたっしや教室やカフェなどに参加出来るように取り組みたいと考えています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・春には「開所10周年記念イベント」の開催を行った。</li> <li>・一部の地域のカフェには参加したが、山かがみでのカフェの開催はできていない。</li> <li>・おたっしや教室等への参加もできていないため、啓発もできていない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平素の事業所及びスタッフと地域の関係は判断しにくい。しかし地域との関係は時間が要すると思う。またこれからのことは教育と研修が必要と考える。</li> <li>・コロナ禍が明けたとは言え、地域事業の開催が少なく参加したいのでは。</li> <li>・地域との関わりは、まず地域人と相談し進めていくべきです。また事業所及びスタッフに対する評価は即対処すべきと思います。</li> <li>・ここはとても工夫が要するところと考えます。職員さんが忙しくなりすぎるとミスも多くなることも考えられ・・・。</li> <li>・民生委員との面談は、できれば計画を立てて行うように。</li> <li>・町内の各種イベントを把握する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・昨年参加出来なかった、鏡の夏祭りに職員も参加する。</li> <li>・相談できる所となっていますが、まだまだ啓発が少ないので啓発をしていく。</li> <li>・各地域のカフェに参加をしていく。</li> </ul>

<p>D. 地域に出向いて 本人の暮らしを 支える取り組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設周りの散歩。秋に植えたチューリップや湖岸の桜・なんじゃもんじゃの木・紅葉見学などたくさん外出をしていきたい。</li> <li>・ボランティア（演芸や演奏）の受け入れも再開し、交流を深めたい。</li> <li>・職員が利用者の住む地域のイベント（おたっしや教室やカフェ等）に、一緒に参加が出来る様に計画したい。</li> <li>・地域の民生委員や近隣の方とも良い関係が築けるように、まずは挨拶からしっかりと行っていく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・チューリップ・桜・藤の花・紅葉見学外出など行った。</li> <li>・「10周年イベント」の時より、ボランティアの受け入れを行い、敬老会には2グループのボランティア、新年会には1グループのボランティアに来て頂けた。</li> <li>・利用者と一緒に、その地域のカフェ等に参加をしたいと思っているが、職員数が少ないことで、出かけていくことが難しくなっている。</li> <li>・送迎の際に出会った地域の方などには挨拶はできた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・貴施設ではないですが、送迎時「こちらから声を掛けてはいけない」オーラがあったりします。個人情報も有り難しいかもですが、利用者さん宅送迎の方とは、利用者さんとの一言二言で良いので、お話できないかなと考えるところです。⇒スキル必要かも。</li> <li>・利用者が事業所の中だけで過ごすのではなく、外に出て行くことは健康的にも好ましく又精神的にも安定すると思える。</li> <li>・運営推進会議においても、地域に出向いた際（文化祭を見学した等）のことを、もう少し詳しく記載するようにして貰いたい。</li> <li>・地域イベントに参加出来るように調整してはいかがでしょう。</li> <li>・今を生きている私たちにとって、今後も「あの人なら喜んで世話をさせて欲しい」「あの人ー？イヤダナ」の二種になるかと思うが、出来る事なら「喜んで世話をさせて欲しい」と言ってもらえる今をいきたいと思う。</li> <li>・利用者が各地域に出かけられ、心の安らぎを感じておられるようです。</li> <li>・インフォーマルサービスの研究を進めて下さい。</li> <li>・職員の資質向上に研修やセミナーは不可欠です。計画的に行きましょう。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員が利用者の住む地域のイベント（おたっしや教室やカフェ等）に、一緒に参加が出来る様に計画する。</li> <li>・例年通り季節を感じる外出を積極的に行う。</li> <li>・地域共生社会(世代や分野を超えてつながることで、住民一人ひとりの暮らしと生きがい、地域とともに作っていく社会)に関して、積極的に学んでいく</li> </ul>
---	--	--	--	--

<p>E. 運営推進会議を活かした取組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各委員のより活発な意見交換が出来る様に配慮を行う。</li> <li>・会議には管理者、主任だけではなく職員も積極的に参加する。</li> <li>・今まで地域の方と一緒に対応した事例などを伝え、「〇〇な時は△△の対応をしていただくとうれしい」等、地域との協働に繋がりたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・管理者・主任以外の職員も会議に参加はできた。</li> <li>・運営推進会議では、運営の報告等に時間を取ってしまい地域の様子についてお聞きすることが少なかった(個人情報もある)為、協働まで至らなかった。</li> <li>・夏祭りに参加予定であったが、他会議と被り参加出来なかった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運営推進会議では、それぞれの立場で意見が出され、問題解決にもなっている。</li> <li>・「山かがみ」は施設運営のために営業的な事項も考える必要あり。</li> <li>利用者促進を常に頭に置きたい。さらに「山かがみ」の価値を上げたい。</li> <li>・職員さんも順番で参加すると良いのでは。</li> <li>・各委員さんからもいろいろ意見が出て良いです。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・報告事項が多くなっているので、意見交換に時間を多く取っていく。</li> <li>・会議には職員も順に参加をする。</li> </ul>
<p>F. 事業所の 防災・災害対策</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年に一度、消防訓練には鏡の消防団に継続して協力を依頼していく。</li> <li>・地震を想定した避難訓練も年に一度は計画し実施していく。</li> <li>・ハザードマップで日野川の氾濫で浸水被害が想定される場所に事業所が建っています。そのことを踏まえて、早めの対応(事業の休止等)を取っていきます。</li> <li>・一人暮らしや高齢世帯の方などは、災害時地域がどのように対応されるのか等の聞き取りを行い、地域との情報共有を取っていききたい。</li> <li>・BCPに関しては作成が義務付けられています。定期的な見直しをしていきます。</li> <li>・災害発生時には地元鏡自治会と協力体制が取れるように、運営推進会議の中で確認していく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・鏡消防団協力での消防訓練は10/26に行った。</li> <li>・昨年末、地震(3/27)、水害(3/29)の避難訓練を行った為、3月中に両避難訓練は行う予定。</li> <li>・ケアマネのサービス計画書に個々の避難について記載を順次行っている。</li> <li>・正規職員はBCPの研修を受講し、定例会議にて全職員に伝達及び山かがみの対応について話し合い、見直しも行った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・水害については頼りにならずですが、命を守る対応をして下さろうとしているので、今後とも宜しくお願いします。</li> <li>・防災・防災対策は利用者さんが直接関わる事ができなくても、意識を持つことが重要である。特にスタッフには意識を持って貰いたい。</li> <li>・問題ない。</li> <li>・災害発生時、自治会で関わって下さっている方がその場におられるとは限りません。地域の住民皆様が「山かがみ」を大事に思っただけで下さるような取り組みがあると、とは思いますが。</li> <li>・地域と協力をして避難訓練が必要と考える(10年間されていない)また、他の施設の対策方法も知りたい。</li> <li>・災害時に地域との連携は大切なので、運営推進会議でももう少し大きく取り扱っても良いと思います。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年に一度、消防訓練には鏡の消防団に継続して協力を依頼していく。</li> <li>・風水害・地震を想定した避難訓練も計画し、年に一度は実施をしていく。</li> <li>・ケアマネの計画書内に各利用者の避難の内容について記載をしている。地域との情報共有を行う。</li> <li>・BCPの理解の為の研修、訓練、見直しを行う。</li> </ul>

			<ul style="list-style-type: none"><li>・在宅サービスなので、風水害よりも地震等に特に備えていただきたい。</li><li>・BCPの見直しは必ず行って下さい。</li></ul>	
--	--	--	--	--

